

出津橋周辺の横断方法について

1. 出津橋周辺の現道路計画①

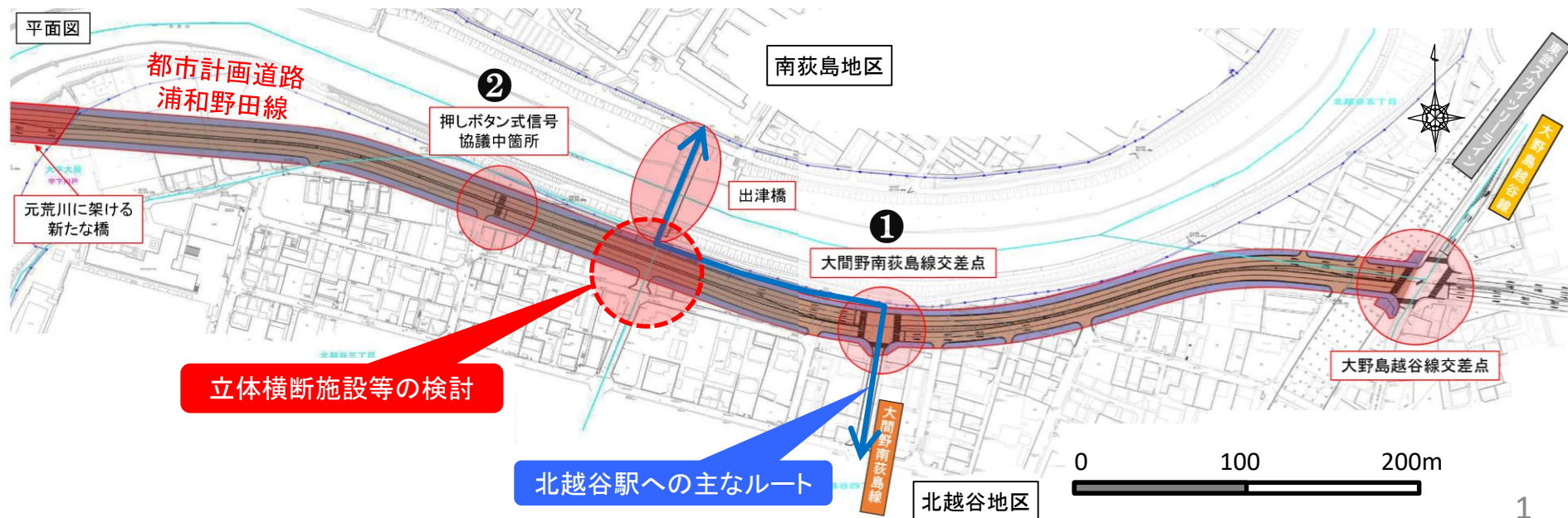
- 南荻島地区から出津橋を渡ってきた後、浦和野田線を横断する導線
- ①都市計画道路大間野南荻島線交差点の信号機のある横断歩道
- ②出津橋から西に約100mの箇所の押しボタン式横断歩道

【課題】

- 出津橋から北越谷駅方面へは、①の交差点を通過していくことができるが、通勤・通学等による交通量が非常に多く、信号機による交差点では処理しきれないことが、歩行者自転車交通量調査(令和4年7月20日)により判明した。

【対応案】

- 立体横断施設などの検討



出津橋周辺の横断方法について

1. 出津橋周辺の現道路計画②

【浦和野田線と出津橋の位置関係】

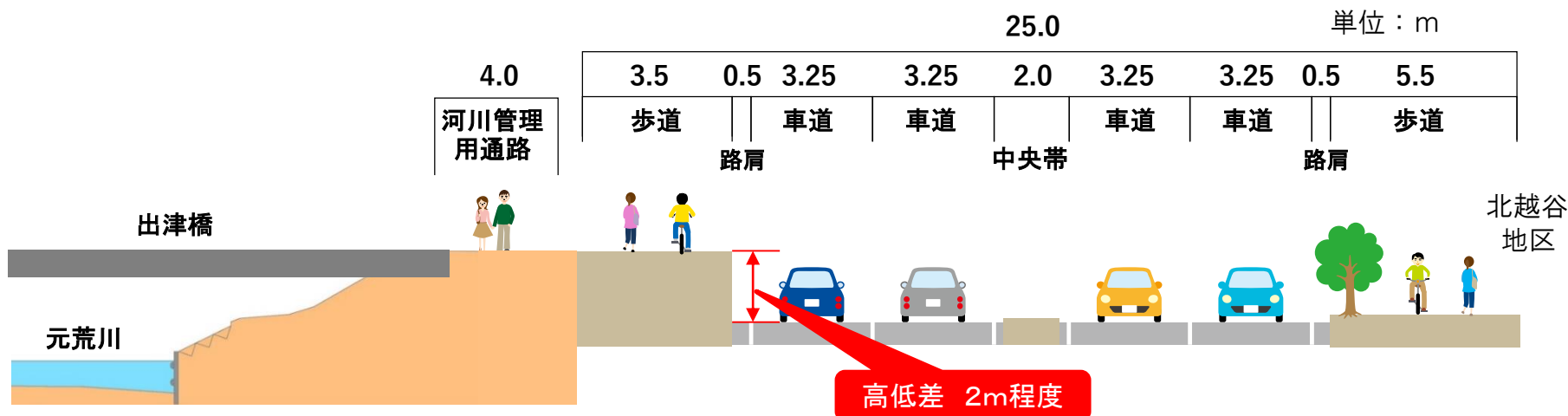
- 浦和野田線の道路高は、既存道路の接続や家屋への接道を考慮し、現状の地盤の高さとしている。
- 出津橋と浦和野田線では2m程度の高低差が生じ、出津橋を渡った箇所では浦和野田線を横断することはできない計画である。
- そのため、歩道をスロープで東西の交差点に摺り付けていくような構造としており、東側の大間野南荻島線の交差点で横断するか、西側の押しボタン式横断歩道で横断する形となる。

【整備イメージ】



3Dモデルキャプチャー画像

【浦和野田線と出津橋の位置関係(イメージ)】

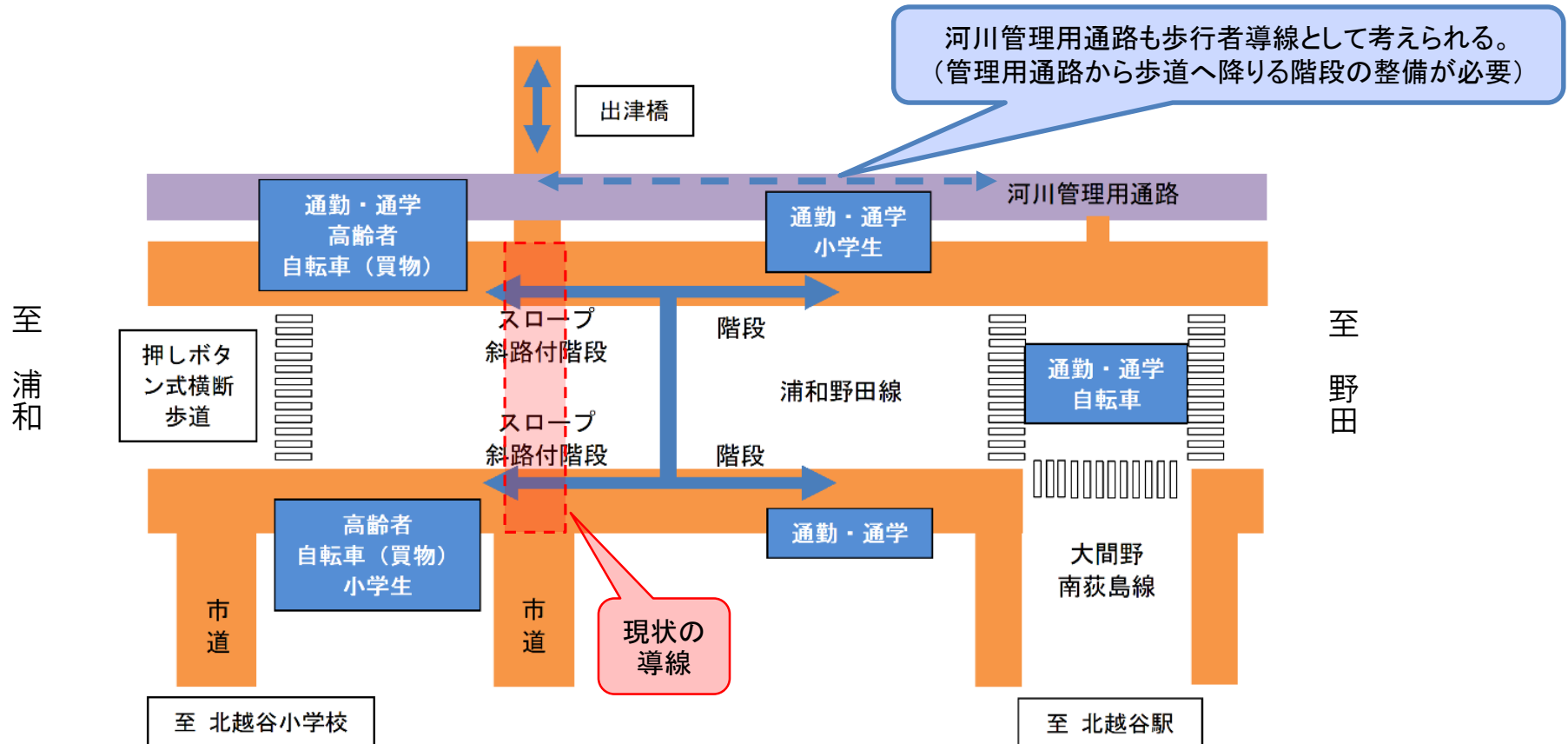


出津橋周辺の横断方法について

2. 検討条件

【出津橋周辺の横断者利用需要・立体横断施設の想定】

- 出津橋周辺の主な横断者の利用需要を下図のとおり整理した。
- この需要を踏まえつつ、立体横断施設の架橋位置、階段・スロープの取付け方法を検討した。



出津橋周辺の横断方法について

3. 検討結果(比較表)

	案1 スロープ+階段	案2 出津橋一体化	案3 斜路付き階段	案4 本線半地下
概略 平面図				
整備 イメージ				
利便性	<ul style="list-style-type: none"> 現状に比べ+階段67段 スロープ利用の場合、現状に比べ約140mの迂回となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状に比べ+階段38段(片方向) スロープ利用の場合、現状に比べ約130mの迂回となる。 出津橋本体も5%以上の傾斜となる。 出津橋と河川遊歩道、川側歩道とのアクセスがスロープ又は、階段となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状に比べ+階段62段 自転車は押し歩きで使用可能だが、車いすやベビーカーは利用不可 エレベーターを設置すれば車いすやベビーカーの対応可能 	<ul style="list-style-type: none"> 現状に比べ+階段25段 スロープ利用の場合、現状に比べ61mの迂回となる。 浦和野田線本線車道の道路勾配が約5%となる。
評価	<ul style="list-style-type: none"> 各利用者が安全に利用可能であるが現状に比べれば迂回が生じる。 大間野南荻島交差点との利用者の分散が見込まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 出津橋から歩道橋へ連続して渡れるが、河川遊歩道と出津橋が連続しなくなり、スロープ等の整備が必要なため案1と似た形式となる。 出津橋にも傾斜が生じてしまうことを考慮すると案1のほうが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> エレベーターの設置により車いすやベビーカーの利用は可能となるが防犯面や維持管理の観点で課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 大雨の際、本線の冠水の恐れがある。 道路を下げることは、堤防の安定を損なう恐れがあることから、治水上望ましくない。

出津橋周辺の横断方法について

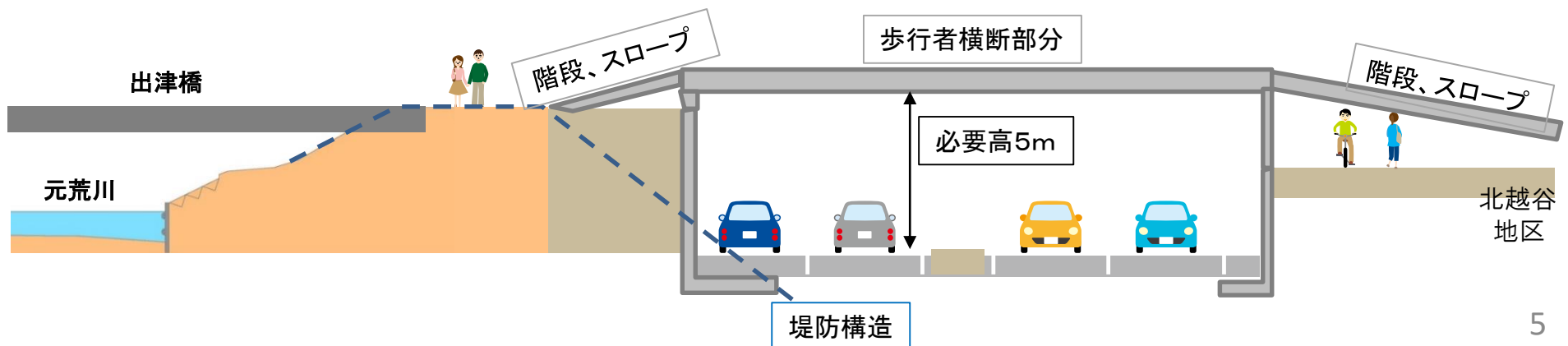
3. 検討結果

本線半地下案の検討

- 大間野南荻島への接続を考慮すると道路を精一杯下げてもフラットに横断は出来ない。
- 堤防の高さと北越谷地区の地盤高に2m程度の高低差が生じるため、階段やスロープの設置が必要。
- 道路に降った雨が一カ所に集中するため、冠水の恐れが高くなる。
- 道路を下げることは、堤防の安定を損なう恐れがあることから、治水上望ましくない。

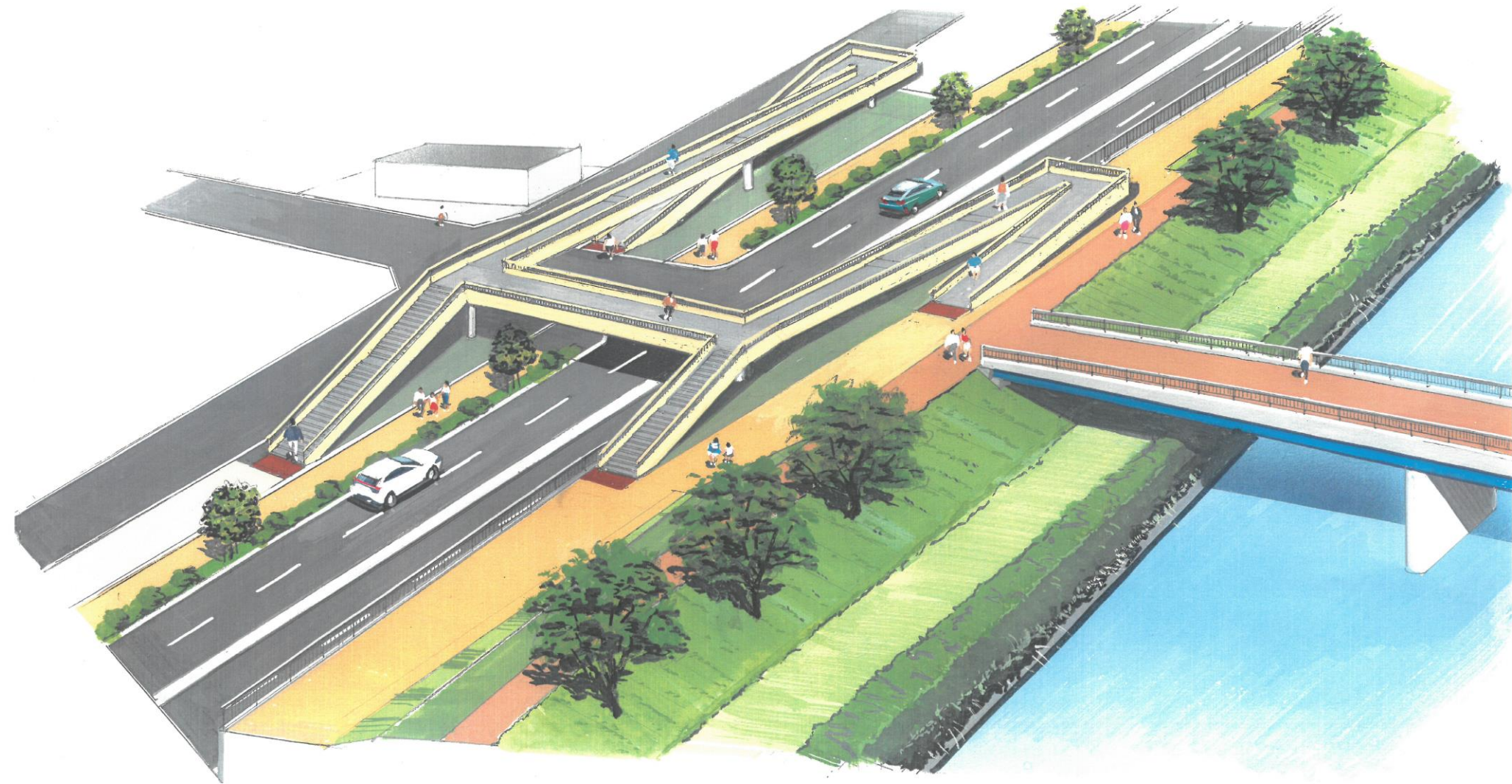


- デメリットが多く、整備による得られる効果も限定されることから、他案に比べ評価が劣る



出津橋周辺の横断方法について

3. 検討結果 イメージパース(案1 スロープ+階段)



出津橋周辺の横断方法について

3. 検討結果 イメージパース(案4 本線半地下)

